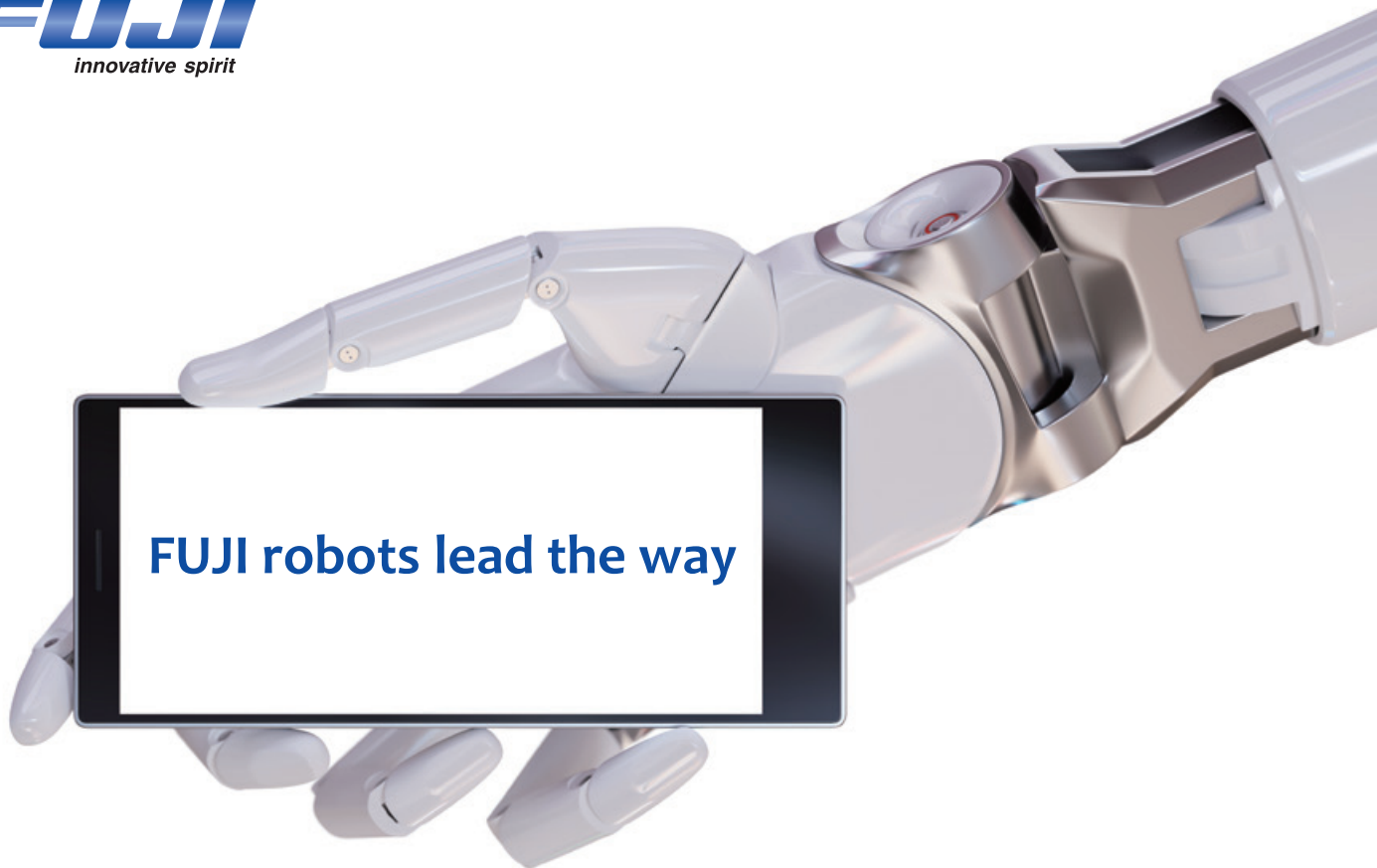




第 **76** 期 年次報告書
2021年4月1日～2022年3月31日



ものづくりを通して豊かな社会を実現してまいります

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当グループ2021年度連結会計年度(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役
会長兼社長

曾我信之

市場環境と成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、輸出の増加や供給制約の緩和を背景に、新型コロナウイルス感染拡大の影響により下押しされてきた景気の回復傾向が続き、製造業では設備投資再開の動きも見られました。世界経済は、欧州及び北米においては堅調な個人消費に下支えされ景気の回復が持続した一方、中国においては新型コロナウイルス感染再拡大に伴う活動制限の強化などにより景気が低迷しました。また、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済への影響は先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、当グループは、『お客様に感動を!』のコーポレートスローガンのもと、ロボット技術を軸に時代を捉え未来を切り拓いていくことを成長戦略の基本とし、変革にチャレンジしてまいりました。来たるべき未来を見据えた魅力ある製品の開発に取り組み、主力の電子部品実装ロボットの分野ではハイエンドモデル「NXTR」の市場投入を推し進め、さらに、がれき類に含まれる異物の自動除去を行うリサイクル分別ロボットの実証実験を2021年9月より開始するなど、社会的

課題解決に向けた新規事業の創出にも積極的に取り組んでおります。また、工作機械の分野では販売力強化のため、加工現場における課題解決の光明となる多数の実機と魅力的なソリューションを取り揃えたショールームを新たに豊田事業所に開設しました。そのほか、ものづくりの効率化や原価改善に努めるとともに、ニューノーマル時代を踏まえたDXを積極的に取り入れることでペーパーレス化やWEB会議、テレワークの推進をはじめとする業務改革により固定費の一層の削減などに取り組み、収益性の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は1,481億2千8百万円となり、前連結会計年度と比べて119億6千6百万円(8.8%)増加しました。営業利益は284億7千2百万円と、前連結会計年度に比べて65億6千8百万円(30.0%)増加し、経常利益は299億4千3百万円と、前連結会計年度に比べて67億1千8百万円(28.9%)増加しました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は211億8千8百万円となり、前連結会計年度と比べて40億2千万円(23.4%)増加しました。

事業別の成果

ロボットソリューション事業

当事業では、プリント基板上に多種多様な部品(IC、チップ等)を装着する電子部品実装ロボット及び周辺機器を開発・製造・販売しております。



スマートフォンをはじめとする通信機器関連、サーバー等の継続的な設備投資に加え、車載関連を中心とする欧米市場の伸長、さらにはこれら電子機器製造に欠かせない電子部品生産用の設備需要の増加を背景に順調に推移しました。この結果、売上高は1,368億6千3百万円となり、前連結会計年度と比べて112億9千3百万円(9.0%)増加しました。また、営業利益は326億1千7百万円となり、前連結会計年度と比べて63億1千万円(24.0%)増加しました。

マシンツール事業

当事業では、金属素材を削り、各種製品の部品を加工する工作機械を開発・製造・販売しております。



北米市場における売上が改善の兆しを見せ回復基調が見られた一方、日本国内市場では主力顧客である自動車関連向けの設備投資に対し慎重な姿勢が続きました。この結果、売上高は81億6百万円となり、前連結会計年度と比べて2億3千9百万円(3.0%)増加し、営業損益は8億5千2百万円の損失(前期:営業損失13億2千4百万円)となりました。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ格別のご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

決算のポイント



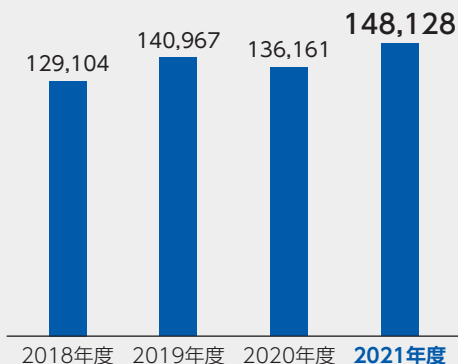
売上高

前年に比べ、119億6千6百万円の増収となりました。

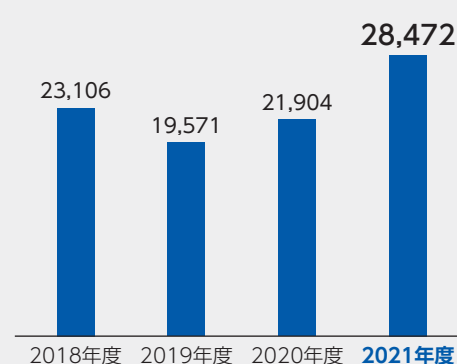
営業利益

売価の改善等により、前年に比べて65億6千8百万円の増益となりました。

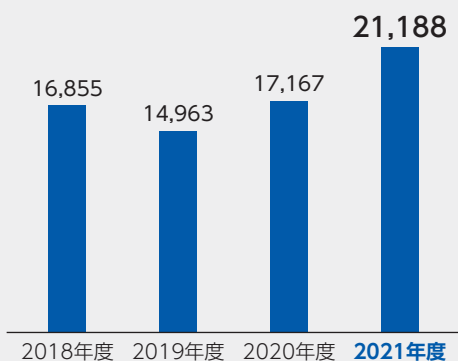
売上高(百万円)



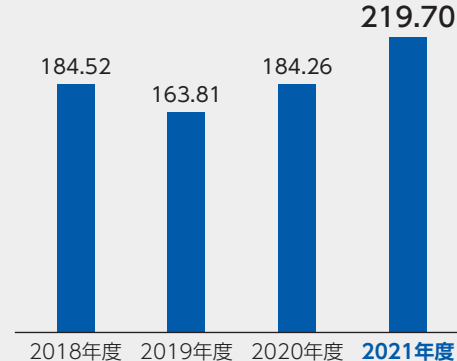
営業利益(百万円)



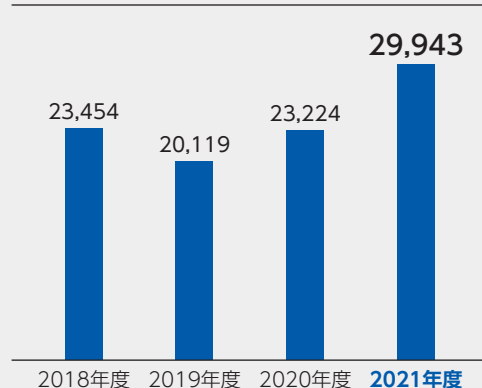
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



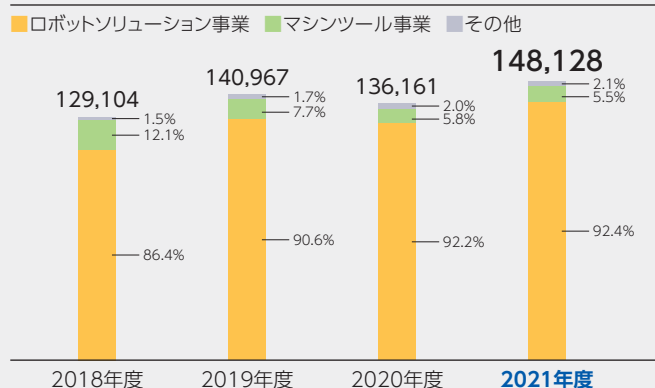
1株当たり当期純利益(円)



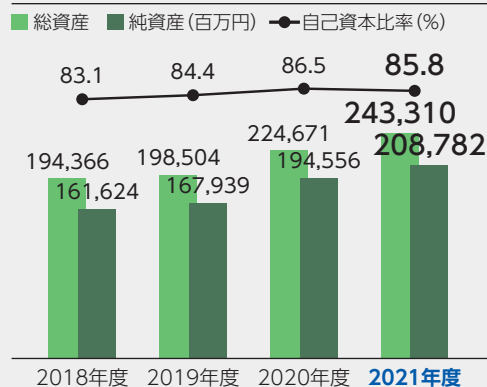
経常利益 (百万円)



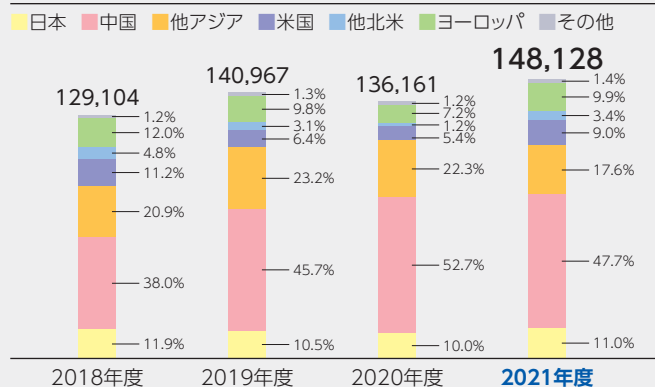
セグメント別売上高 (百万円)



総資産／純資産／自己資本比率



地域別売上高 (百万円)



連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨)

科 目	2021年度	2020年度
資産の部		
流動資産	165,978	143,859
現金及び預金	59,481	60,278
受取手形及び売掛金	38,972	36,374
有価証券	7,579	1,757
商品及び製品	14,434	9,996
仕掛品	24,484	20,804
原材料及び貯蔵品	12,417	7,364
その他	8,705	7,369
貸倒引当金	△96	△86
固定資産	77,331	80,811
有形固定資産	26,337	24,342
無形固定資産	25,809	24,851
のれん	11,642	11,893
ソフトウェア	8,985	8,130
その他	5,181	4,827
投資その他の資産	25,184	31,618
投資有価証券	20,433	28,509
繰延税金資産	1,966	826
退職給付に係る資産	2,362	1,890
その他	421	390
資産合計	243,310	224,671

科 目	2021年度	2020年度
負債の部		
流動負債	33,037	27,279
支払手形及び買掛金	12,463	11,025
未払法人税等	5,960	4,861
製品保証引当金	812	955
その他	13,801	10,438
固定負債	1,490	2,834
繰延税金負債	1,059	2,517
退職給付に係る負債	326	254
その他	104	62
負債合計	34,527	30,114
純資産の部		
株主資本	196,600	181,624
資本金	5,878	5,878
資本剰余金	7,077	7,034
利益剰余金	185,301	170,381
自己株式	△1,657	△1,670
その他の包括利益累計額	12,065	12,631
その他有価証券評価差額金	7,162	9,779
繰延ヘッジ損益	55	42
為替換算調整勘定	4,766	2,066
退職給付に係る調整累計額	80	742
非支配株主持分	117	300
純資産合計	208,782	194,556
負債純資産合計	243,310	224,671

連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨)

科 目	2021年度	2020年度
売上高	148,128	136,161
売上原価	89,637	85,458
売上総利益	58,491	50,703
販売費及び一般管理費	30,018	28,799
営業利益	28,472	21,904
営業外収益	1,620	1,358
受取利息	104	101
受取配当金	547	795
受取賃貸料	20	23
為替差益	826	231
雑収入	122	206
営業外費用	149	38
支払利息	4	△0
支払手数料	51	17
寄付金	22	4
損害賠償金	64	14
雑支出	8	2
経常利益	29,943	23,224
特別利益	1,877	1,815
固定資産処分益	26	42
投資有価証券売却益	1,455	1,773
段階取得に係る差益	395	—
特別損失	1,719	975
固定資産処分損	114	108
減損損失	1,478	828
その他	126	38
税金等調整前当期純利益	30,101	24,065
法人税、住民税及び事業税	10,042	7,170
法人税等調整額	△1,140	△289
当期純利益	21,200	17,183
非支配株主に帰属する当期純利益	11	16
親会社株主に帰属する当期純利益	21,188	17,167

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円未満切捨)

科 目	2021年度	2020年度
営業活動による キャッシュ・フロー	15,720	30,870
投資活動による キャッシュ・フロー	△11,598	△10,471
財務活動による キャッシュ・フロー	△6,513	△4,577
現金及び現金同等物に係る 換算差額	1,541	660
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△850	16,481
現金及び現金同等物の 期首残高	60,388	43,907
現金及び現金同等物の 期末残高	59,538	60,388

豊田事業所ショールーム開設

2022年2月、豊田事業所に新しくショールームを開設いたしました。

複合加工機GYROFLEXをはじめ、バージョンアップしたCSIIシリーズ、TNIIシリーズ、使いやすさを追求した新操作盤Feonsなど、最新の製品を多数展示しています。またオンラインによる3D見積ツールや対話式CAMシステムなど、FUJIが提案するトータルDXソリューションをご覧いただけます。お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ

TEL 0565-76-2650

Email fujitoyotashowroom@fujico.jp



リサイクル分別ロボットの開発

社会的課題の解決に向け、がれきに含まれる異物除去を行うリサイクル分別ロボットを開発しました。

道路や建物解体後のがれきは、再生路盤材などに再利用されています。がれきに含まれる金属や木材などの異物は従来人手で分別されていましたが、AI技術などを用いたロボットが行うことで、労働力不足や現場環境の改善に貢献します。



東証プライム市場 名証プレミア市場へ移行

2022年4月4日より、株式市場区分の見直しに伴い、東京証券取引所プライム市場及び名古屋証券取引所プレミア市場へ移行しました。

今後もステークホルダーの皆様のご期待にお応えできるよう、企業価値のさらなる向上に取り組んでまいります。



東京証券取引所



名古屋証券取引所



会社の概要

商 号	株式会社FUJI	支 店	東京、大阪
	FUJI CORPORATION	営 業 所	仙台(宮城)
本 社 所 在 地	愛知県知立市山町茶碓山19番地	工 場	本社、岡崎、豊田（以上愛知）
設 立	1959年4月	主要な事業内容	電子部品実装ロボット及び工作機械の製造、販売
資 本 金	5,878百万円	従 業 員 数	連結2,791名、単体1,710名（2022年3月31日現在）

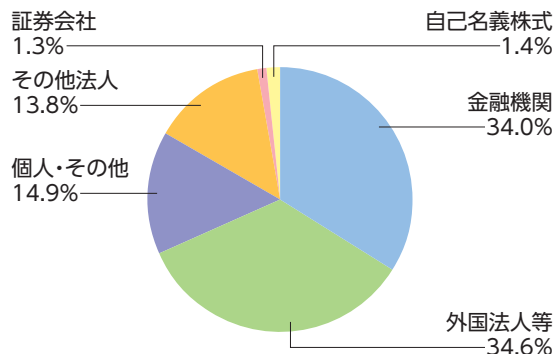
役員 (2022年6月29日現在)

取 締 役			監 査 役	執 行 役 員			
							
代表取締役会長兼社長 曾我 信之	代表取締役副会長 執行役員 須原 信介	取締役 常務執行役員 江崎 一	常勤監査役 杉浦 昌明	上席執行役員 村上 浩	執行役員 鈴木 隆紀	執行役員 酒井 一俊	執行役員 鈴木 隆司
							
取締役 執行役員 加納 淳一	取締役 執行役員 五十棲 文二	取締役※ 川合 伸子	監査役※ 松田 茂樹	執行役員 岡田 健人	執行役員 浅岡 鉄哉	執行役員 栗生 浩之	執行役員 井土 武洋
							
取締役※ 玉田 秀彰	取締役※ 水野 象司		監査役※ 山下 佳代子	執行役員 藤田 政利	執行役員 佐藤 武		

(注) ※印の取締役及び監査役は社外役員であります。

発行可能株式総数 390,000,000株
 発行済株式の総数 97,823,748株
 株主数 7,924名

所有者別分布状況

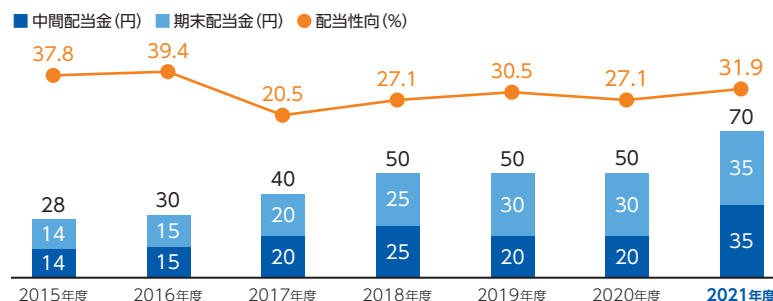


大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,966	13.44%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,010	5.19%
大同生命保険株式会社	4,811	4.98%
株式会社三菱UFJ銀行	3,416	3.54%
FUJI取引先持株会	2,974	3.08%
株式会社名古屋銀行	1,554	1.61%
BNYM AS AGT/CLTS NON TREATY JASDEC	1,502	1.55%
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,483	1.53%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,389	1.44%
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	1,366	1.41%

(注) 1.当社保有の自己株式(1,378,045株)については、上記上位10名の株主から除外しております。
 2.持株数は千株未満を切り捨て、持株比率は自己株式を控除して計算し小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

1株当たり年間配当金・配当性向



配当政策及び配当金

当社の利益配分に関する基本方針といたしましては、将来の事業展開に伴う資金需要に配慮しつつ、株主の皆様への継続的な利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけ、配当性向30%を目安に安定配当の維持に努めてまいります。

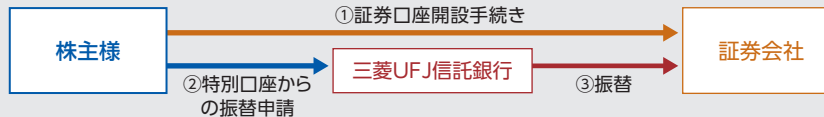
当期の期末配当金につきましては、1株につき35円にいたしたいと存じます。これにより、中間配当金35円を含めました当期の年間配当金は、1株につき70円となります。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間:土・日・祝祭日等を除く平日9:00～17:00 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会	6月中		
配当金受領株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施するときの 中間配当金受領株主確定日は 9月30日であります。	公告掲載方法	電子公告(当社ホームページ https://www.fuji.co.jp/ に掲載いたします。) ただし、事故等で電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株		
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号		

[ご注意]

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いきませんのでご注意ください。
- 特別口座*に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。



*特別口座とは、2009年1月の株券電子化移行時点で、証券会社の口座に当社株式をお預けになっていない株主様のために、当社が三菱UFJ信託銀行に開設した口座のことです。

[手続き書類のご請求方法] ○インターネットによるダウンロード <https://www.tr.mufig.jp/daikou/>

- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

ホームページにて企業情報を随時開示しております。
製品紹介のサイトでは当社が出展した展示会情報等を掲載しているほか、IR情報のサイトでは決算短信やアニュアルレポート等をご覧いただけます。

<https://www.fuji.co.jp/>



スマートフォンやタブレット等から、下記を読み取ってアクセスすることもできます。



株式会社 FUJI

〒472-8686

愛知県知立市山町茶碓山19番地



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

